



# 児童センター「ゆめゆめ館」 オープンして丸1年が経過

本町の小学校に通う子どもたちの遊びの場として、児童センター「ゆめゆめ館」が、平成25年4月1日にオープンし、丸1年が経過しました。25年度1年間で延べ1万人以上が利用しました。7月にはオープン1周年記念事業を実施する予定です。

**子どもの豊かな成長を願いオープン**  
児童センターは、昭和52年に建設された児童生活館の老朽・狭あい化を解消するとともに、受け入れ児童の対象者を拡大、放課後・週末活動支援機能をもつ「竹の子クラブ」と一体化した施設として、オープンしました。  
施設は、木造平屋建て延べ面積498.53㎡で、柱や梁（はり）に、町有林のカラマツ材を加工した集成材を使用、床材には、本町と姉妹町の高知県・津野町産のヒノキ材を使用し、木のぬくもりあふれる施設にし、児童がのびのびと体を動かすことができるように大空間の遊戯室も設けています。

## 延べ1万人以上が利用



児童センターの活動の中で、子どもたちが楽しく過ごし、生活や遊びの中でいろいろな「ちから」が育つように父母の皆さんの意見を取り入れながら運営方針などを細かく定めています。  
共働き家庭などの放課後に留守家庭となる児童が利用する「児童クラブ」と、自由に来館して施設を利用できる「自由来館」の二つの利用形態があります。  
左の表にありますが、児童クラブは、25年度の年間登録数が56人で、延べ利用は7,375人、自由来館は、165人の登録で、延べ4,587人が利用、合わせて延べ1万1,962人もの利用がありました。

平成 25 年度児童センター来館実績

	児童クラブ	自由来館	合計
年間登録数(実数)	56人	165人	—
延べ来館者数	7,375人	4,587人	11,962人

### 町全体で児童センターを運営

児童センターの事業として、ゲームやアニメ上映などのほか、高校生ボランティアとの交流や、健康教育（食育）、避難訓練、昔あそび、やきいも作りなど多彩です。  
こうした事業で、子どもたちが楽しく過ごし、生活や遊びの中でいろいろな「ちから」が育つように児童センターを運営しています。



2013/08/02

### 7月には1周年記念イベント

平成26年度についても、25年度同様に季節の行事を盛り込むなど、多彩な事業を計画しているほか、7月下旬には、オープン1周年を記念した事業を実施する予定です。



児童センター ☎ 57-1663

訓子府幼稚園 ☎ 47-2622